

# ミーティングの 10のステップ



子どもたちとつくるミーティング（サークルタイム）を、10のステップに分けて詳しく見ていきます。  
園で取り組む際には、まずは1つずつ、ステップを踏みながら進めていきましょう。  
『保育ナビ』の毎月の連載では、現場の先生方からの疑問に、ステップごとに青山先生が答えています。  
本資料と併せて、ご活用ください。

## ステップ概要

### ステップ0

本音を出せる環境があるか

### ステップ1

集まる

### ステップ2

耳を向ける

### ステップ3

声を出す

### ステップ4

傾聴する

### ステップ5

話す

### ステップ6

会話する

### ステップ7

考える

### ステップ8

意見を出す

### ステップ9

考え合う

### ステップ10

そしてまた暮らしへ

## ステップ1

## 集まる

### ● ミーティングは「寄り合い」です

集まる時に「1日1回は顔を合わせて、みんなでおしゃべりしよう」、そんなイメージをもってください。ミーティングは堅苦しい会議ではなく、結論も必ずしも出す必要はありません。ミーティングは「寄り合い」です。

例えば、AちゃんとBくんがブロックの取り合いでけんかして、保育者が間に入って「折り合いをつけさせる」ってありますよね。

「Aちゃん、終わったら貸してあげられる？ Bくんも叩かないでお口で言ってみようか。同じブロックあるけどこっちはだめかなあ」

お互いの気持ちは受け止めつつ、折り合いの付けられる地点を探っていく。

でも子どもの本音としては、  
Aちゃん「あたしだけがつかっていたい。えいえんに」

Bくん「たたいてでもほしい。ほかのってなに？  
Aちゃんがつかってるブロックだからこそ、つかいたい！」

一方、ミーティングでは本音は本音のまま出

してもらいます。そうすると、周りの子どもたちがいろいろ言い出します。

「たたくことないじゃん」

「でも、ついてあるよね、つい、たたいてちゃう」

「おなじブロック、つくれないの？」

「おれ、つくれる（根拠なし）」

「あたしもつくれる」

「えーと……（話の筋、逸脱しちゃったから）、どうしたもんかねえ」と、おとな。

「だからー、たたくことはないって」

「それくらい欲しかったみたい。みんなは人のものが欲しくなったらどうするの」と、投げかけてみます。（この展開のコツはまた改めて……）

「ちかくいって、へー！ へえええ!!! って、いう」

「くれよ、でいいじゃん」

「いっしょにあそばない？ そのブロックで」

「あきらめて、ほかのであそぶ」

そのうちにわいわいがやがやとなったまま散会します。無理矢理に結論を出さなくても、それぞれの本音が出て、周りの子どもと一緒にあれこれ考え合えればOKです。